

命について考える時間

先日、体育館南西にある築山の中にネジバナを見つけました。芝生の中に見つけることはありますが、野草の中にひっそりと咲いていました。ネジバナは、モジズリとも言い、古くは万葉集や百人一首にも登場することで知られています。

万葉集では詠み人知らずで「芝付（しばつき）の御宇良崎（みうらさき）なる 根都古（ねっこ）草 逢い見ずあれば 吾（あれ）恋ひめやも」と詠まれ「根都古（ねっこ）草」がネジバナと言われています。また、

百人一首では、河原左大臣が「陸奥（みちのく）のしのぶもぢずり 誰（たれ）ゆえに乱れそめにし われならなくに」と詠み、「もぢずり」として登場します。古くから親しまれているネジバナで、日本の文学をふりかえることができます。

万葉集や百人一首が書かれた時代ほど古くはありませんが、七十数年前に私たちの国は戦争を経験しました。8月6日には広島に、9日には長崎に原子爆弾が投下されました。そして、15日には終戦記念日があります。私たちは今、平和な生活をしていますが、その平和は先人のたくさんの苦勞と努力によって得られたものであることを忘れてはいけません。平和な今であるからこそ、命を大切にしてほしいと思います。自分の命は勿論、人の命も大切です。いじめによって、命を落としてしまうこともあります。普段から、いじめのない学校にしていきたいと私は思っています。生徒には夏休み中に命について考えるよう、終業式に話をしました。

たくさんの成果をもって1学期が終わります。先の万葉集や百人一首のモジズリが詠まれている歌は、2つとも恋の詩です。ものすごく簡単に訳すと「私の心がこんなに乱れてしまったのは私のせいではありません。（あなたのせいです）」となります。どんなに心が揺れ動いてしまったとしても、落ちついて考え、冷静に行動できる生徒であってほしいと思います。そして、この夏休みには、命について考える時間をとってほしいと願っています。



体育館南西の築山にあったネジバナ

8月に13日～16日まで閉庁日となります

7月3日（水）の保護者会の資料にもありますが、8月13日（火）～16日（金）は、閉庁日となりますので、学校には連絡がつかません。急な用事がありましたら、川越市教育委員会（224-5139）へ連絡をお願いします。